

2020年10月15日発行

9月18日（金）に至誠特別養護老人ホーム、至誠ホームアウリンコ、至誠和光ホームにて長寿を祝う会が行われました。今年は規模を縮小し、利用者の皆様と職員で式典、祝膳の席を設け、皆様のご長寿とご健康をお祝いしました。

至誠和光ホム

至誠ホームアウリンコ
で最高齢は105歳。
これからも益々お元気
にお過ごし下さい。

至誠特別養護老人ホーム

★至誠和光ホームでは、2部制で式典を行いました。
入居者の皆様も素敵な装いで式典に参加され、美味しいお食事とともに、皆様のご長寿と健康をお祝いし、和やかな会となりました。

各フロア毎での式典のあとは、
美味しい祝膳を皆様で楽しみました。
利用者の皆様も美味しいお食事に、
笑みがこぼれていました。

タイトルのTuuliとはフィンランド語で「風」を意味します。皆様のもとにさわやかな風をお届けしたいと願っています。

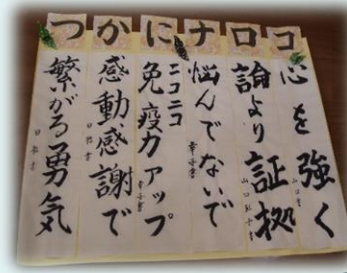
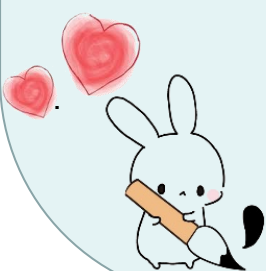
至誠ホームアウリンコデイホーム・書道活動のご紹介

現在至誠ホームアウリンコデイホームで、書道の活動をして下さっている山根浩子さんのご紹介をさせていただきます。今年度は半年近く活動がお休みの状況が続いている中で、現在山根さんにはお手本を届けて頂き、そのお手本を元に利用者の方々、職員で書を楽しむ時間をもっています。活動の状況が変わる中で、今できることを模索しながら山根さんにご協力頂き感謝致します。今後ともどうぞ宜しくお願い致します。以下に山根さんのお言葉をご紹介します。

アウリンコデイホームでの活動がスタートして4年が経ちました。貴施設利用者の皆様への熱心さには最初から敬服しました。まず、書道が好きなのです。お手本に集中し、真摯に向かい合っていました。揮毫した作品をホワイトボードに貼り合評です。起筆（筆の第一画の入り）がみごとな人、送筆（筆の運び）終筆（最後の筆の運び）など、個性が光るものばかりで発見の連続です。皆さん、おおらかで深い書を書く方、繊細で厳しい線を書く方がおられます。見事です。書は脳のトレーニングでもあり、筆運びは筋肉運動としてもリハビリ科目としても取り入れられています。さらに、漢字の意味や言葉からの連想は利用者個人の思い出と重なります。その思い出の一コマ一コマが尊く半紙に揮毫されています。例えば「入学式」のお手本からは、「1年生～5年生まで戦時中でした。〇〇小学校に通っていました」「1年生～2年生は満州の学校で共学でした」と人生を振り返るお話しをしてくださるのです。年齢や介護度に関係なく上達していく皆さんに私自身も精進していこうと強く思います。つい指導というと半紙に収まりよく見栄えよく書くことと思う方も多いと思います。私たちの「夢と笑顔の勉強会」は光る個性をみつけること、光る個性をのばすことに重きをとって楽しみながら続けて参りました。担当職員さんのご理解も深く、私の気持ちを理解してフォローして頂いています。心強い応援団です。私はお仲間の皆さんに毎回やさしくしていただき心より感謝しております。幸せな時間をみなさんと共有でき満足しております。引き続き何卒よろしくお願い申し上げます。



山根 浩子



キューピーちゃん



お月様の中にうさぎが隠れているのわかりますか？



★毎月可愛い姿で登場してくれるキューピーちゃんは、来園者の皆様にも大人気です！
9月はお月見、10月はハロウィーンバージョンのキューピーちゃんです。